



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

こっこめ通信

11 2020

「このままで良いのか？外来植物」号

秋も深まり、八丈島でもザトウクジラを目撃情報がちらほら聞かれるようになってきました。八丈小島ではそろそろクロアシアホウドリが子育てのために姿を見せる頃です。秋の八丈島も楽しみが多いですが、実は最近、数多い外来の迷惑植物達が気になって仕方がありません。今年はとうとう日本で最も有名な迷惑外来植物「ブタクサ」が八丈島でも確認されました。そこで今回は気になる外来植物のいくつかを紹介します。

要注意！花粉症の原因「ブタクサ」初記録！

【ブタクサ *Ambrosia artemisiifolia*】 キク科

北アメリカ原産の帰化植物。本土では、道端や河原など至る所で見られます。八丈島では、7月下旬八丈富士永郷線でビジターセンターとして初めて確認しました。広い範囲の路肩に見られ、右画像のように密集している場所もあれば、1株ずつ点在している所もありました。

秋の花粉症の原因の一つとされているブタクサですが、ブタクサと言われて、セイタカアワダチソウ（次ページ2種目）を思い浮かべる方も少なからずいると思います。秋の花粉症の原因になっているのは本種です。



【要注意！ブタクサ花粉】

ブタクサは高さ30～150センチになる1年草です。

8月～10月にかけて花を咲かせます。花茎の先端に雄花花序をつけ、その下の方に雌花があります。

ブタクサの花粉はアレルギーを引き起こす原因として有名です。この花粉はとても小さくスギ花粉の半分ほどの大きさです。とても小さいので、体の中に入り込みやすく、喘息の原因の一つとなっているそうです。



雄花花序



役目を終えた雄花と
若い実（雌花下方）

【来年以降が心配です】

国立環境研究所の侵入生物データベースには「総苞に包まれた瘦果（偽果）(32,000～62,000個)は、雨、鳥、人間などにより伝播」とあります。数字は1株のブタクサが着ける平均的な種の数です。しかも、土中の種子の寿命は40年程だそうです。除草剤のある成分に耐性を持ち、一度はびこってしまうと大変なことになる事は容易に想像できますね。

まだ個体数が少ない今の内に何か対策を考えなければ、将来ブタクサ花粉に悩まされる人が増えてしまうかもしれません。



「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

他にも気になる外来植物あります

八丈島は古くから他地域との交流が盛んだった事もあり、植物に限らず外来種天国とでも言いたくなるような悲惨な状態ですが、イタチやアオダイショウ、アズマヒキガエルのように目立つ動物達と比べて外来の植物は一般にはあまり注目されていないように思います。しかし、在来の植生を圧迫して本来あるべき自然環境を変えてしまうという意味では外来植物は決して無視できないものです。八丈島ではまだこれらを積極的に駆除しようという動きはありませんが、そろそろ考えるべき時が来ているのかもしれません。



オオキンケイギク キク科 *Coreopsis lanceolata*

北アメリカ原産の多年草です。

日本では明治時代に観賞目的で導入され、荒地地の緑化にも利用されたようですが、繁殖力が非常に強く、今では北海道を除く全国に広がっています。

八丈島では普段の生活の中で気になるほど蔓延っている訳ではありませんが、空港の滑走路の周りなどでは一面の花盛りになることがあります。八丈植物公園では発見次第、できるだけ小苗の内に抜き取っています。

環境省・特定外来生物



セイタカアワダチソウ キク科 *Solidago altissima*

こちらも北アメリカ原産の多年草です。

やはり観賞目的で明治時代に持ち込まれ、養蜂のための蜜源植物としても利用されるなどして、全国に広がりました。

本州では蔓延のピークは過ぎたようですが、八丈島では侵入したのが遅かった事もあってまだまだこれからです。

写真の場所も、今後数年間に渡ってこのまま放置されれば、後方に見える草地も一面のセイタカアワダチソウの群落になってしまう事でしょう。なんとかしたいものです。

環境省・生態系被害防止外来種



アメリカネナシカズラ ヒルガオ科 *Cuscuta pentagona*

北アメリカ原産の葉緑素を持たない寄生植物です。

日本では昭和40年頃に初めて確認され、現在では全国に広がっています。

遠目には黄色い網を被せたように見え、八丈島でも海岸近くの草地でよく見かけます。

種子が発芽すると相手を選ばず手近に生えている植物に寄生して成長するらしく、裸地でなければどこでも生育することができるようです。

環境省・生態系被害防止外来種



コマツヨイグサ アカバナ科 *Oenothera laciniata*

こちらも北アメリカ原産の越年草で、日本には明治時代に侵入したようです。

現在は北海道を除く全国に広がっており、八丈島でもなじみ深い雑草です。

コマツヨイグサが夕方の光の中で一面に咲いているを見るととても綺麗ですが、根が強い上に結実率が良いので完全に駆除しようと思うと結構手強い相手です。

マメに抜き取るしかないですね。

環境省・生態系被害防止外来種

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものを観察して季節を感じてもらう目的で「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。季節の変化を感じられる植物は全て記録し、野鳥や昆虫の様子も観察しています。10月は悪天候のため申し込みがなく、スタッフだけで2回に分けて実施しました。

八丈植物公園季節調査（2020年第10回）参加者：VC 菊池，今井

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			36	タチスズメノヒエ	花と実	11	テイカカズラ	実
1	アオツツラフジ	花と実	37	チチコグサ	実	12	トベラ	実
2	アオノクマタケラン	実	38	チヂミザサ	花	13	ハゼノキ	実が残る
3	アキノノゲシ	花	39	ツククサ	花	14	ハチジョウキブシ	実
4	アシタバ	実	40	ツルソバ	花	15	ヒメユズリハ	実
5	アメリカスズメノヒエ	花と実	41	テリハノブドウ	実	16	ホルトノキ	実
6	イガガヤツリ	実	42	テンツキ	実	17	モチノキ	実
7	イヌタデ	実	43	トウバナ	実	18	ヤブニッケイ	実
8	イヌホオズキ	花と実	44	ナキリスゲ	実	シダ植物		
9	イワニガナ	花	45	ヌメリグサ	実	1	イシカグマ	
10	ウスベニニガナ	花と実	46	ネズミノオ	実	2	イノモトソウ	孢子葉
11	ウリクサ	花と実	47	ハイメドハギ	花と実	3	ウチワゴケ	
12	エダウチチヂミザサ	花	48	ハチジョウアザミ	花	4	オオイタチシダ	
13	オオバコ	実	49	ハハコグサ	花	5	オオタニワタリ	
14	オニタビラコ	花と実	50	ヒナギキョウ	花と実	6	オニヤブソデツ	
15	オヒシバ	実	51	ヒメクグ	実	7	カニクサ	孢子葉
16	カタバミ	花と実	52	ヒメムカシヨモギ	花と実	8	シチトウハナワラビ	孢子葉
17	カヤツリグサ	実	53	ヒメヨツバムグラ	実	9	タチクラマゴケ	
18	カリマタガヤ	花	54	ヘクソカズラ	実	10	タチシノブ	孢子葉
19	ガンクビソウ	花と実	55	ホソバツルメヒシバ	実	11	タマシダ	
20	キツネノマゴ	花と実	56	メナモミ	花と実	12	トラノオシダ	
21	キンゴジカ	花と実	57	メヒシバ	実	13	ナチシケシダ	
22	クグ	実	58	メリケンカルカヤ	花	14	ナチシダ	
23	クグガヤツリ	実	59	ヤブガラシ	花	15	ナンカイイタチシダ	
24	クルマバザクロソウ	花と実	60	ヤマイ	実	16	ノキシノブ	
25	コセンダングサ	花	木本			17	ハチジョウカナワラビ	
26	コニシキソウ	花と実	1	アオキ	若い実	18	ハチジョウシダ	
27	コミカンソウ	花と実	2	イタビカズラ	実	19	ヒトツバ	
28	コメヒシバ	花	3	イヌビワ	実	20	ホシダ	
29	ザクロソウ	花と実	4	オオバヤシャブシ	実	21	マツバラン	孢子葉
30	ササガヤ	花	5	オオムラサキシキブ	実	22	マメツタ	
31	シマササバラン	実	6	ガクアジサイ	実	今回はシダ植物 22 種を含む 100 種の植物を観察しました。公園内の各所に植栽されたキンモクセイの花が甘い香りを漂わせていました。		
32	シマスズメノヒエ	花と実	7	シチトウタラノキ	花			
33	ススキ sp.	花	8	シマクサギ	若い実			
34	セイタカアワダチソウ	咲き始め	9	シマモクセイ	咲き始め			
35	タケダグサ	花	10	スタジイ	実が落ちる			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「ナンカイイタチシダ」にスポットを当ててみたいと思います。



ナンカイイタチシダ *Dryopteris varia*

南方系の常緑シダ。日本では千葉県南部から琉球まで分布しています。八丈島では比較的珍しく、山で出会うと少しうれしくなります。

漢字にすると「南海鼬羊歯」ですが、「難解鼬羊歯」だという定番のジョークもあり、この仲間の識別の難しさを表しています。

名前に「イタチシダ」とつく植物は八丈島に5種類自生していますが、これらを全て見分けることができたなら八丈島のシダはかなりスッキリしますね。上級者はその微妙な佇まいの違いで区別ができるそうですがホントかな？・・・。

(T.K.)

2020 11 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
1 ガイドウォーク 05:36 17:04 11:19 23:21	2	3 ガイドウォーク 06:45 17:48 12:14 00:00	4	5	6	立冬 7 ガイドウォーク 09:53 19:28 02:25 14:03
8 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 11:22 20:20 03:25 16:13	9	10	11	12	13	14 ガイドウォーク 04:25 16:01 10:10 22:33
15 ガイドウォーク シダ植物観察会 (北限のヘゴを訪ねて) 05:17 16:31 10:51 23:11	16	17	18	19	20	21 ガイドウォーク 10:39 19:52 02:44 15:14
22 ガイドウォーク 11:49 21:02 03:40 17:06	23 ガイドウォーク 12:50 23:39 04:51 19:07	24	25	小雪 26	27	28 ガイドウォーク 八文学講座 「ひつつき虫を調べよう」 04:20 15:36 09:52 22:12
29 ガイドウォーク 04:58 16:03 10:27 22:42	30 10:59 23:12					この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
11/8 (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員: 10名

シダ植物観察会 (北限のヘゴを訪ねて)

東京文化財ウィーク 2020 企画事業として実施するシダ植物観察会です。
11/15 (9:30～15:30) 中学生以上
防衛道路 鴨川林道入口 集合・解散 参加費: 50円 定員: 20名

八文学講座 「ひつつき虫を調べよう」

毎月行っている八文学講座。今月はホタル水路周辺で動物散布種子を探します。
11/28 (13:30～15:00) 中学生以上
和泉親水公園駐車場 集合・解散 参加費: 50円 定員: 10名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日及び祝日 (10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員: 10名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

当面の間は上記のみの上映になります

東京都八丈ビジターセンター 2020.11.1 第234号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入館無料)
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話: 04996-2-4811 Fax: 04996-2-4888

編集後記

台風シーズンも終わり、渡り鳥の動向が気になる季節になりました。八丈島でも既にこの秋、多くの冬鳥が観察されています。これから
どんどん寒くなりますが、少し自然に目を向ければ野外活動の楽しみは尽きません。バードウォッチングを初めて見ては? (T.K.)